

図 2.12 (1) 2006 年度夏季における平均流の分布図 (2006 年 7 月、上:上層・下:下層)

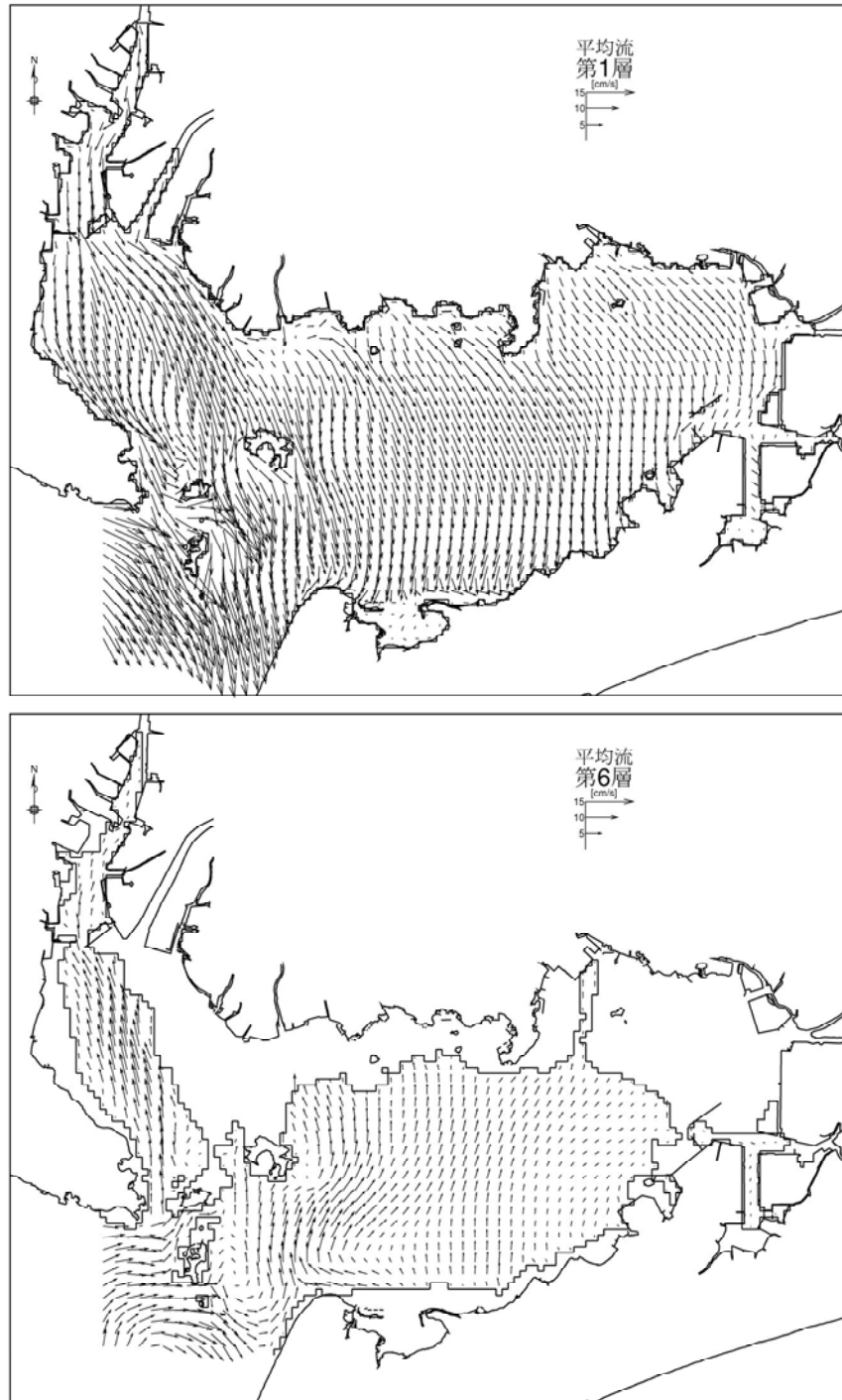
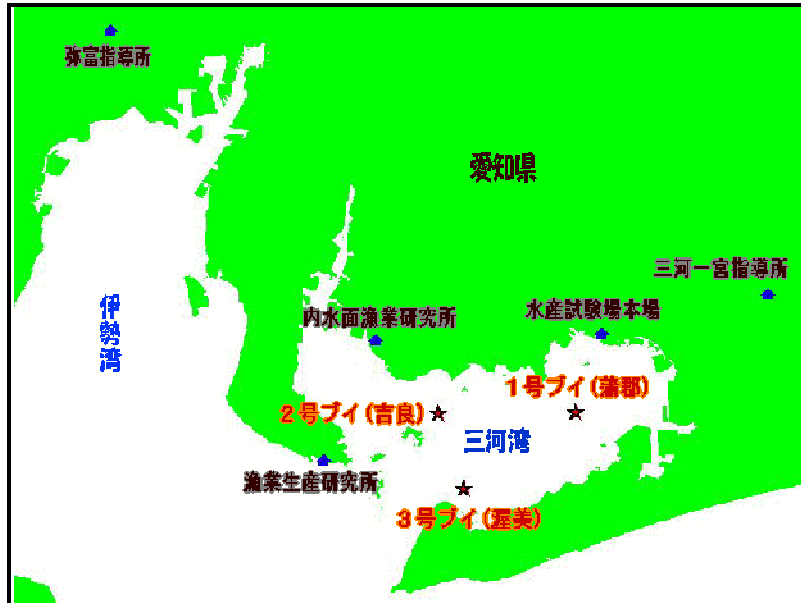


図 2.11 (2) 2006 年度冬季における平均流の分布図 (2006 年 12 月、上:上層・下:下層)

2) 水温・塩分

比較に用いる流れの実測値には、愛知県水産試験場により図 2.13 に示す 3 地点において行われている、水温・塩分の連続観測を用いる。



1号ブイ：水深約 10m

北緯 34 度 44 分 36 秒

東経 137 度 13 分 13 秒

2号ブイ：水深約 10m

北緯 34 度 44 分 42 秒

東経 137 度 4 分 19 秒

3号ブイ：水深約 13m

北緯 34 度 40 分 30 秒

東経 137 度 5 分 49 秒

観測は 2 深度。上層：海面下 3.5m、下層：海底上 2m

図 2.13 愛知県水産試験場による定点観測地点

図 2.14 及び図 2.15 に、上記の実測値と計算値の比較を示す。水温は梅雨期と秋の成層期から混合期に変化していく時期にやや計算値が観測値よりも高い傾向がみられるとともに、塩分は梅雨期を中心に春から夏にかけて、特に 2006 年について計算値が観測値よりも高い傾向がみられる。しかしながら、これらを除くと水温、塩分ともに計算値は、観測値の季節的な変化や傾向を良く表現していると考えられる。

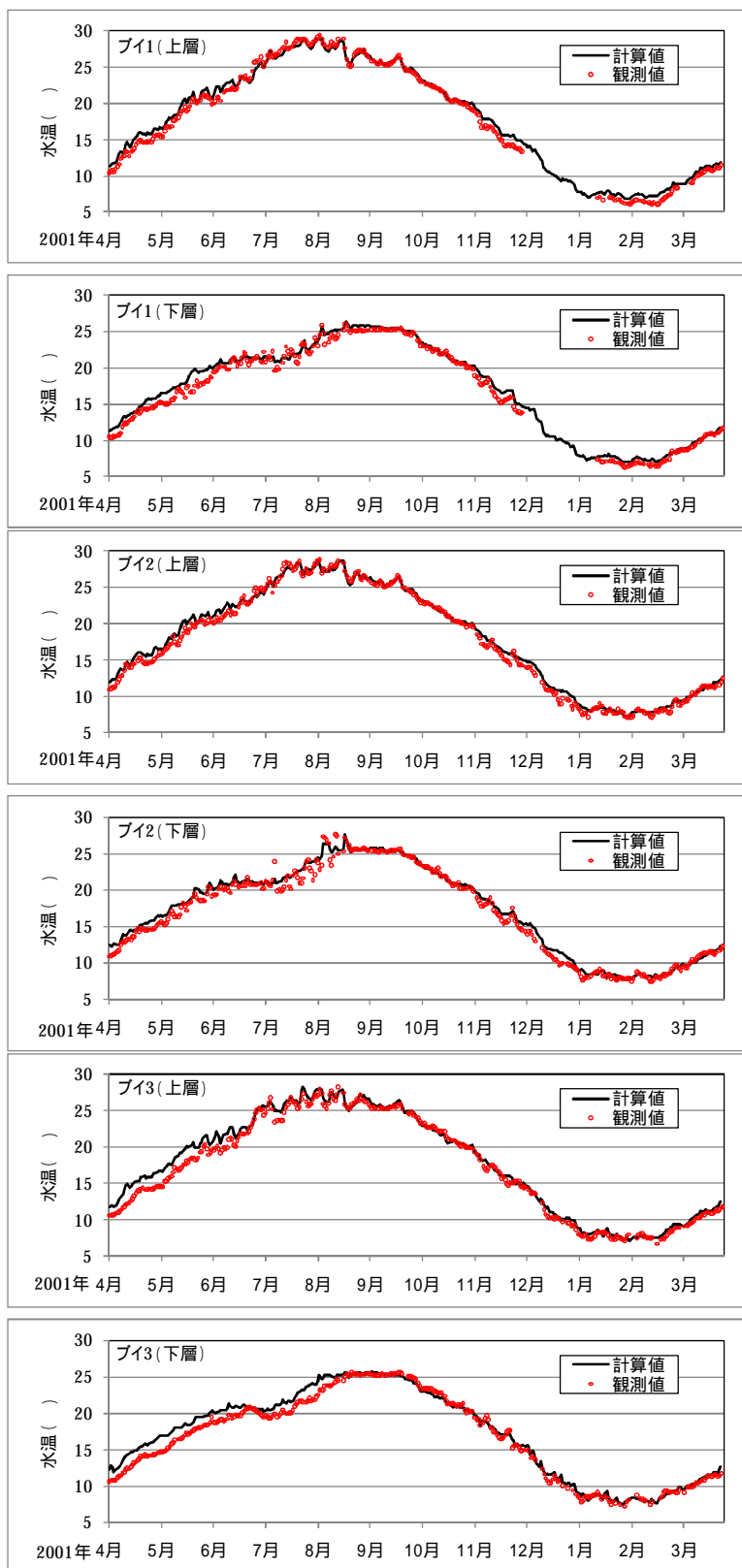


図 2.14(1) 日平均水温の比較 (2001 年度)